

名古屋市次期総合計画中間案の策定に向けて (重点課題・戦略・めざす都市像等)

—名古屋市次期総合計画有識者懇談会 分科会—

名古屋市総務局企画課

1 次期総合計画の構成について

次期総合計画の構成について（フロー図）

市政を取り巻く潮流

- ①少子化・高齢化
- ②災害に対する不安の高まり
- ③リニア中央新幹線の開業
- ④価値観・ライフスタイル多様化
- ⑤グローバル化の進展
- ⑥環境問題の深刻化
- ⑦公共施設の老朽化
- ⑧自治体が担う役割の変化

長期的展望に立ったまちづくりの方向性

重点課題・戦略

重点課題

- 人口減少社会における人口構造の変化への対応
- 南海トラフ巨大地震への対応
- リニア中央新幹線開業への対応

課題解決に向けた戦略

- 若い世代、子育て世代に選ばれるまちをつくり、地域の活力を高めます
- 市民・企業・行政の総力で大規模災害へ備えます
- 都市間競争に勝ち残れる、大きく強い名古屋をつくります

めざす都市像等

めざす4つの都市像

- 誰もが生き生きと過ごせるまち
- 災害に強く安全に暮らせるまち
- 快適な都市環境と自然が調和するまち
- 魅力と活力にあふれるまち

市政運営
の方針

都市空間
将来構想

2 重点課題と課題解決に向けた戦略

重点課題について

15年先を見据え、本市に特に大きな影響を与えると考えられる課題を3つの重点課題とし、その課題解決に向けた戦略を考察する。

【重点課題】

(1) 人口減少社会における人口構造の変化への対応

- 経済活力の低下
- 医療福祉サービスの需要増
- 少子化社会対策
- 高齢者が元気に暮らしていける環境づくり
- 子育て世帯への支援
- 高齢者単身世帯への支援

(2) 南海トラフ巨大地震への対応

- 多方面への人的・物的・経済的被害
- 交通インフラなどへの影響懸念
- 液状化や内外水氾濫の懸念

(3) リニア中央新幹線の開業への対応

- 首都圏へのストロー現象への懸念
- 都市間競争の激化
- リニア中央新幹線の開業を地域の発展につなげる

課題解決に向けた戦略（１）

人口減少社会における人口構造の変化への対応



子育て世代に選ばれるまちをつくり、地域の活力を高めていきます

- ①出産前の若い世代や、子育て世代にとって住みやすいまちづくり、若い世代、女性が活躍できる環境づくり
- ②健康寿命を延ばし、元気高齢者が社会を支える
- ③地域における助け合いの仕組みづくり、公的なサービスの新たな担い手となる市民活動の活性化

課題解決に向けた戦略（２）

南海トラフ巨大地震への対応



市民・企業・行政の総力で大規模災害へ備えます

- ①自助・共助による地域防災力の強化
- ②交通施設・拠点施設などの老朽化対策・安全管理
- ③被災後の市民生活の早期復旧に向けた取り組み

課題解決に向けた戦略（3）

リニア中央新幹線の開業への対応

都市間競争に勝ち残れる、大きく強い名古屋をつくります

- ①名古屋駅の都市機能の集中的強化、交通ネットワークの強化
- ②都市の魅力を高め、観光や産業における人的交流を拡大
- ③基幹産業としてのものづくり産業の振興や、その集積を生かした企業誘致、集積する商業の振興による、圏域全体の産業競争力の強化

3 めざす4つの都市像と市政運営の方針

めざす4つの都市像と市政運営の方針について

○めざす4つの都市像と市政運営の方針

市政を取り巻く潮流・重点課題・戦略を踏まえ、15年先を見据えためざす都市像と市政運営の方針として整理する。

- ①誰もが生き生きと過ごせるまち
- ②災害に強く安全に暮らせるまち
- ③快適な都市環境と自然が調和するまち
- ④魅力と活力にあふれるまち
- ⑤市政運営の方針

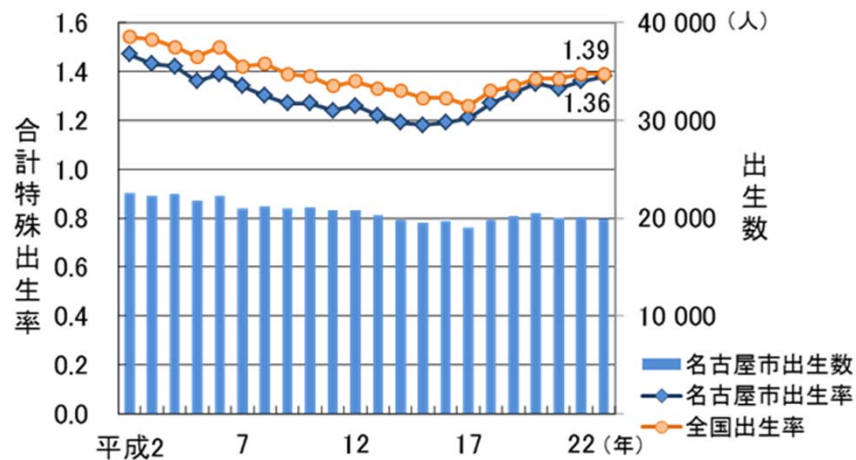
(1) 誰もが生き生きと過ごせるまち

（１）誰もが生き生きと過ごせるまち（現状と課題）

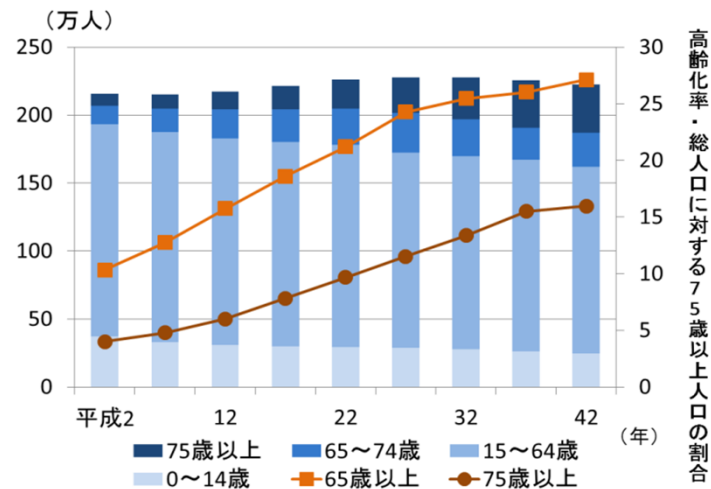
■現状と課題

- ・ 少子化・高齢化により人口構造が変化している。
- ・ 社会の成熟化や移り変わりのなかで、人々の価値観やライフスタイルが多様化し、家族や世帯のあり方も多様化している。
- ・ 地域における人と人とのつながりが希薄化している。

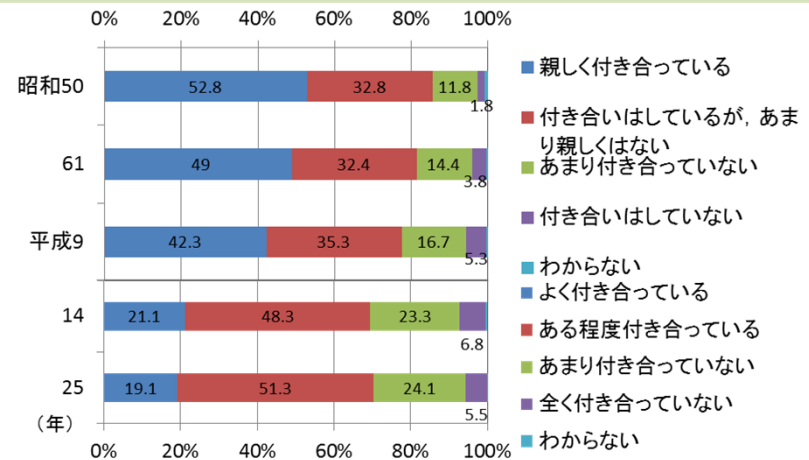
（１）誰もが生き生きと過ごせるまち（資料）



本市の出生数と合計特殊出生率の推移 出典：名古屋市統計年鑑



本市の高齢化の推移と将来推計 実績値：国勢調査（総務省）
推計値：名古屋市推計

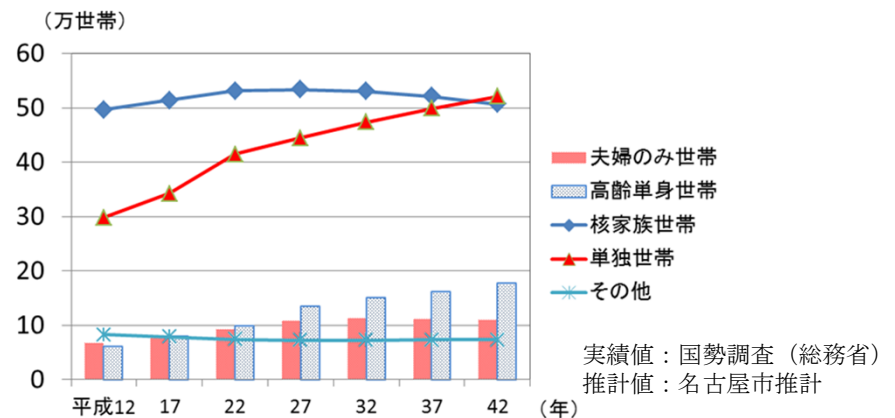


備考

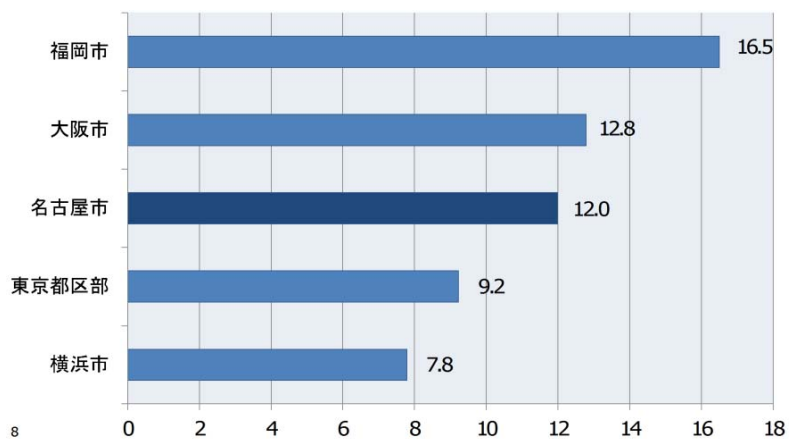
1. 昭和50、61、平成9年は、「あなたは、近所付き合いをどの程度していらっしゃいますか。この中ではどうでしょうか。」という問いに対し、回答した人の割合。
2. 平成14、25年は、「あなたは、地域での付き合いをどの程度していますか。この中から1つだけお答えください。」という問いに対する回答をした人の割合

地域における人と人とのつながりの希薄化

出典：内閣府「社会意識に関する世論調査」
より名古屋市作成

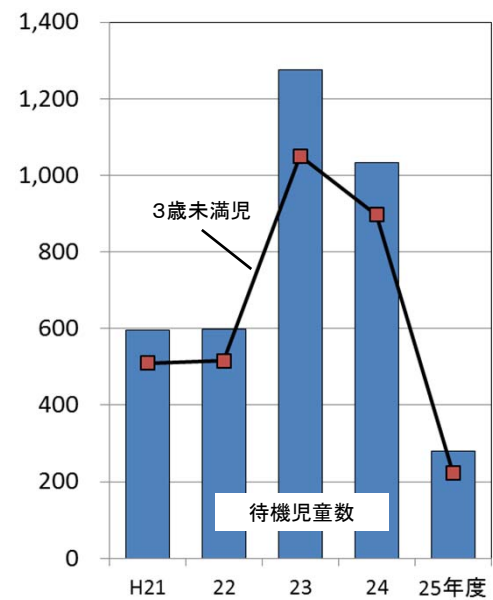


世帯の家族類型別一般世帯数



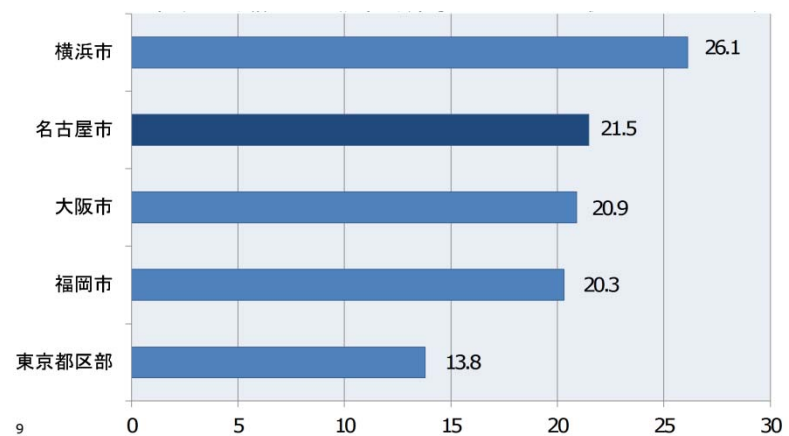
病院・一般診療所病床数の都市間比較
人口千人あたりの数

出典：厚生労働省「医療施設調査」平成22年



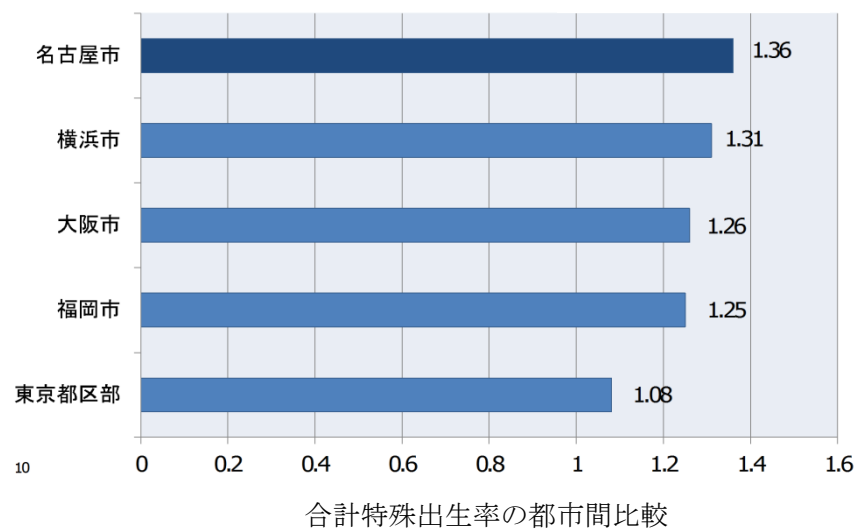
全市待機児童数の推移
(H21～25)

出典：子ども青少年局
「平成25年4月1日現在の保育
所待機児童数について」



介護老人福祉施設・介護老人保健施設定員数の都市間比較
65歳以上人口千人あたりの数

出典：厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」平成22年



合計特殊出生率の都市間比較

出典：厚生労働省「人口動態推計」平成22年

（１）誰もが生き生きと過ごせるまち（めざす姿）

☆人権と絆が大切にされるまち ☆誰もが不安なく自立して過ごせるまち
☆一人ひとりが生き生きと自分らしく生活できるまち

人権・生きがい

- ・一人ひとりの人権が尊重されるとともに生きがいを持って生活できる

福祉・
自立支援

- ・社会の中で誰もが不安なく、自立して暮らせる
- ・すべての人が、適切な医療や介護などの福祉サービスを受けられ、地域社会のなかで互いに支えあい、健やかに安定した生活を送れる

高齢者の活躍

- ・高齢者が、豊富な経験や知識を社会のなかで積極的に活かしてはつらつと生活できる

就 労

- ・意欲を持って働くことができる

生涯学習・
スポーツ振興

- ・学びができる、スポーツや趣味などの活動や仲間づくりを通じて、社会とのつながりのなかで生きる喜びを感じながら生活できる

子育て支援

- ・子どもを安心して生み育てることができるよう社会全体で子育てを支援していく

子どもの成長

- ・子どもが健やかに成長できるよう、個性を大切にしながら年齢や発達段階に応じた育ちや学び体験ができる

若者の活動支援

- ・若者たちが自立し主体的に活動していける

（１）誰もが生き生きと過ごせるまち（施策体系）

●施策体系

- ・生涯にわたる心身両面の健康づくりを支援します
- ・高齢者が生きがいを持って暮らせるよう支援します
- ・適切な医療を受けられる体制を整えます
- ・安心して介護を受けられるよう支援します
- ・障害者が自立し安心して暮らせるよう支援します
- ・地域住民が互いに助けあい、安心して暮らせる福祉のまちづくりをすすめます
- ・安心して子どもを生み育てられる環境をつくります
- ・子どもが健やかに育つ環境をつくります
- ・虐待やいじめから子どもを守ります
- ・子どもの確かな学力と豊かな心、健やかな体を育みます
- ・誰もが高い意欲を持って働けるよう、就労支援をすすめます
- ・生涯にわたる学びや生きがいづくりを支援します
- ・人権が尊重され差別や偏見がない社会をつくります
- ・男女平等参画を総合的にすすめます

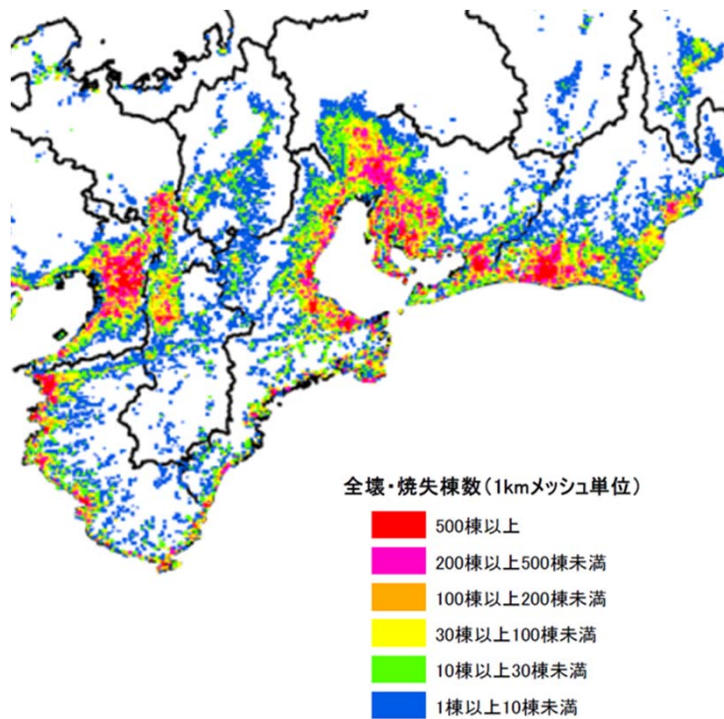
(2) 災害に強く安全に暮らせるまち

（２）災害に強く安全に暮らせるまち（現状と課題）

■現状と課題

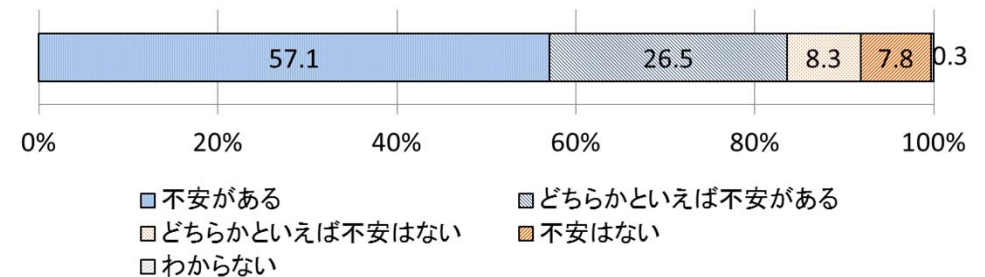
- 自然災害に対し不安を感じる人が8割を超えている。
- 南海トラフの巨大地震は、今後30年以内に60％程度で発生するとされており、市民の不安が高まっている。
- 「犯罪が少なく安全で安心して過ごす」ことについて、市民アンケートでは重要度が高いが満足度が低い。

(2) 災害に強く安全に暮らせるまち（資料）



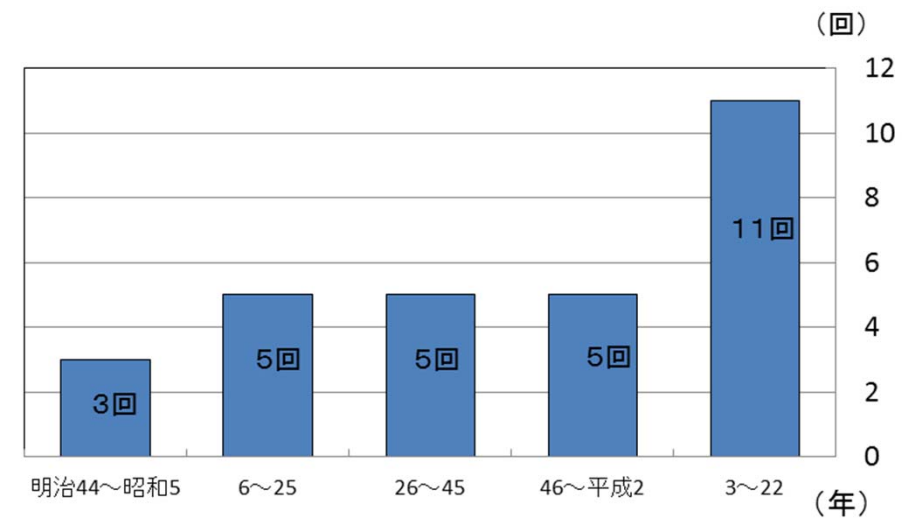
南海トラフ地震被害想定

出典：内閣府「南海トラフ巨大地震の被害想定について（第一次報告）」平成24年



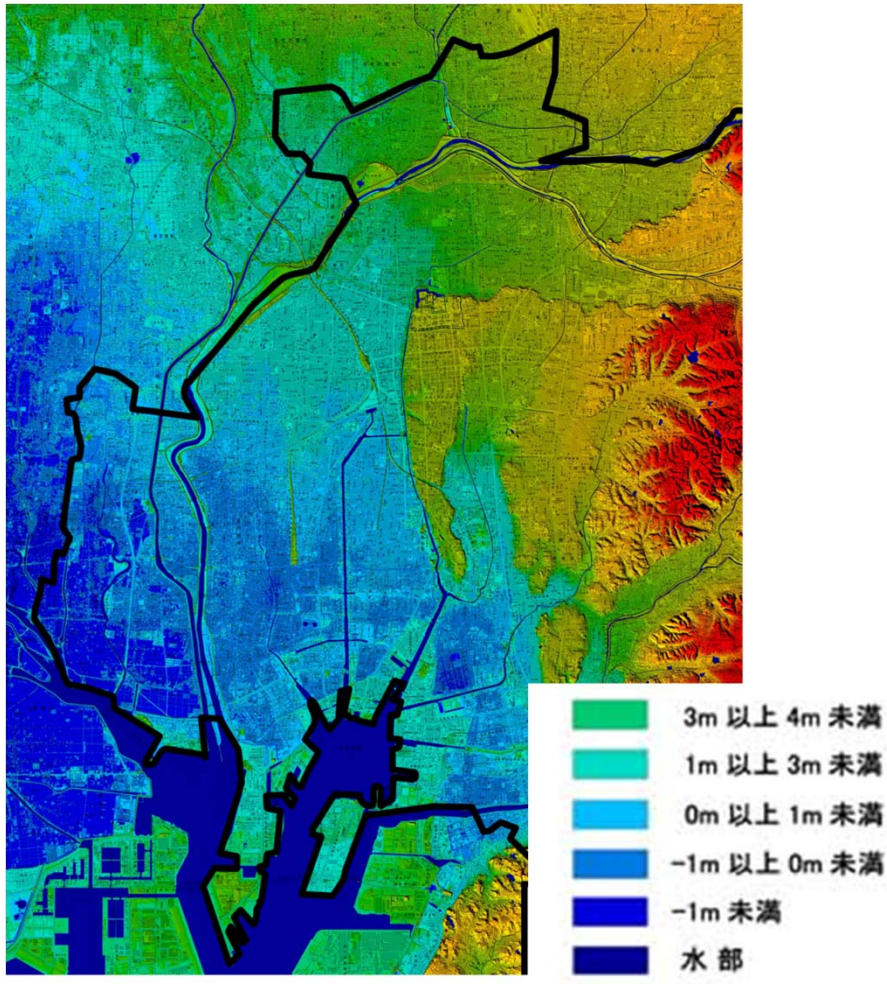
自然災害の被害に対する不安

出典：内閣府「防災に関する特別世論調査」平成22年



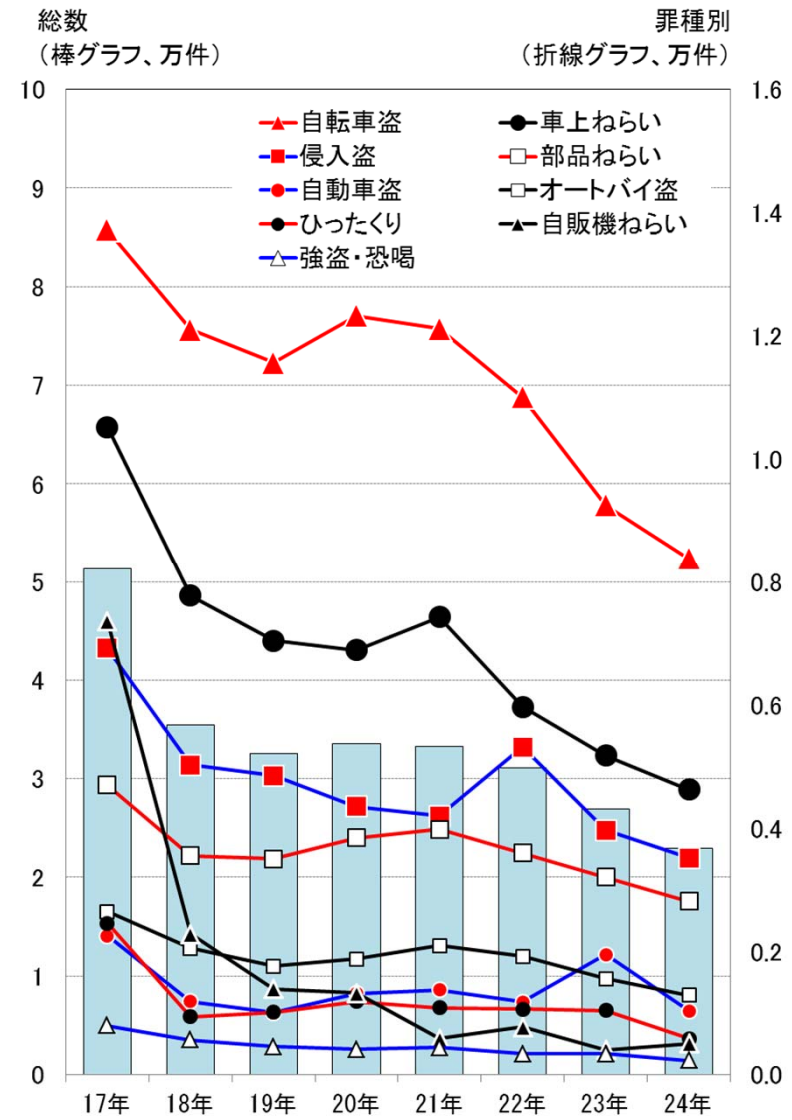
名古屋市における50mm/時以上の降雨発生回数

出典：名古屋地方気象台観測値



市西南部のゼロメートル地帯

出典：国土地理院



市内における街頭犯罪等10種の罪種別認知件数

出典：名古屋市市民経済局地域安全推進課資料

（２）災害に強く安全に暮らせるまち（めざす姿）

☆災害に強いまち

☆犯罪や事故から守られたまち

☆地域が一体になって安全に取り組むまち

過去の教訓を
生かした備え

- ・伊勢湾台風や東海豪雨など、過去の大災害を教訓に備えている
- ・今後想定されている南海トラフの巨大地震に備えている

減 災

- ・被害を最小限にする減災に取り組んでいる

復旧・復興

- ・発災後の迅速な復旧・復興を見据えた備えができている

自助・共助・
公助による地域
防災力向上

- ・行政が公助の役割を果たしていくとともに、自助や共助を組み合わせ、平時から防災力を高めていく

火災予防・犯罪・
交通事故防止

- ・火災、犯罪、交通事故対策や地域と連携した啓発活動などができている

水・食の安全

- ・水道水が安定的に供給されている
- ・食の安全・安心が確保されている

（２）災害に強く安全に暮らせるまち（施策体系）

●施策体系

- ・ 災害に強いまちづくりをすすめます
- ・ 防災・減災対策を進めるとともに、地域の防災力向上につとめます
- ・ 災害時に市民の安全を守る体制を整えます
- ・ 犯罪や交通事故のない地域づくりにつとめます
- ・ 衛生的な環境の確保につとめます
- ・ 安全でおいしい水を安定供給します
- ・ 消費生活の安定・向上と、食の安全・安心を確保します

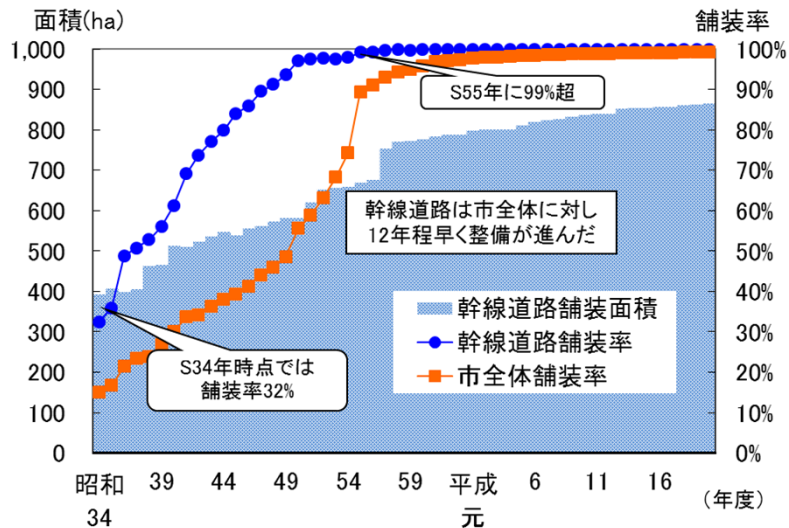
(3) 快適な都市環境と自然が調和するまち

（３）快適な都市環境と自然が調和するまち（現状と課題）

■現状と課題

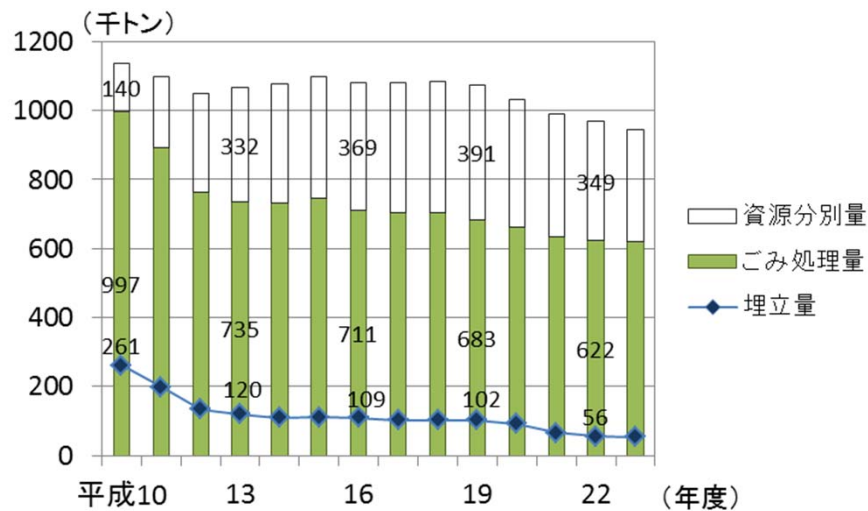
- 戦後の計画的な事業実施により、交通施設・供給処理施設・その他の公共施設などの都市基盤は概ね整備が完了している。
- 公園や農地、河川やため池など、身近に感じ、ふれあうことができる緑と水がある。
- 都市化により緑の減少傾向など、自然が失われつつある。

(3) 快適な都市環境と自然が調和するまち（資料）



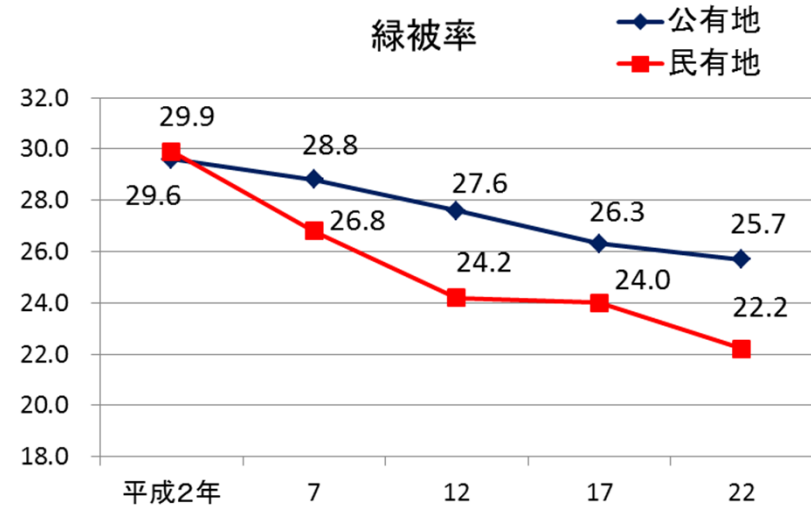
幹線道路舗装延長の推移

出典：名古屋市アセットマネジメント推進プラン



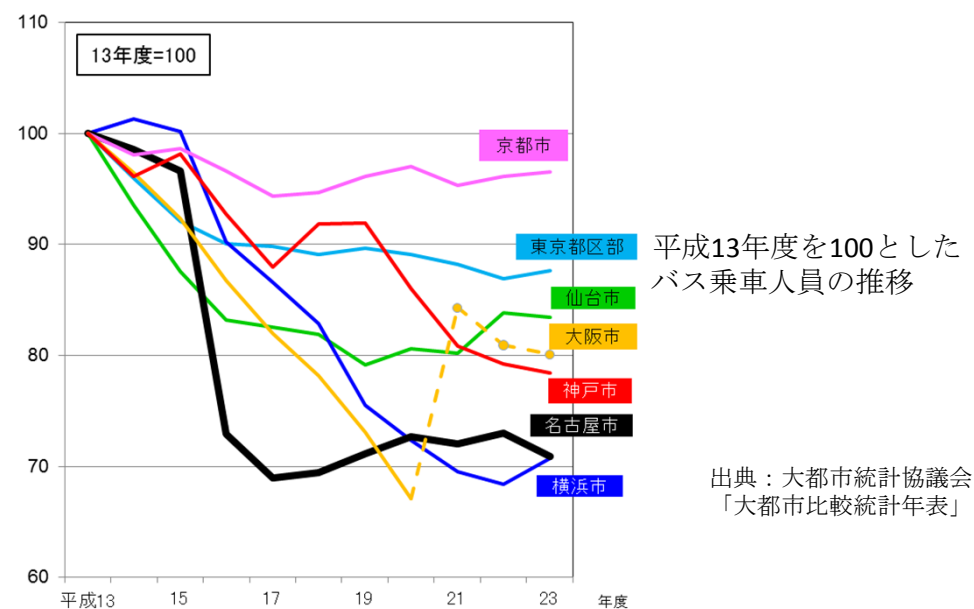
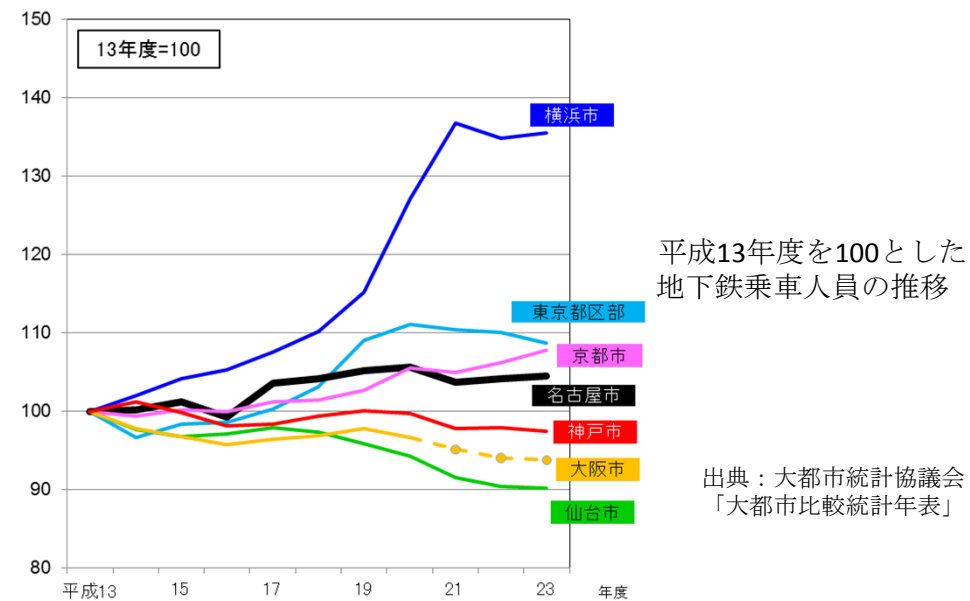
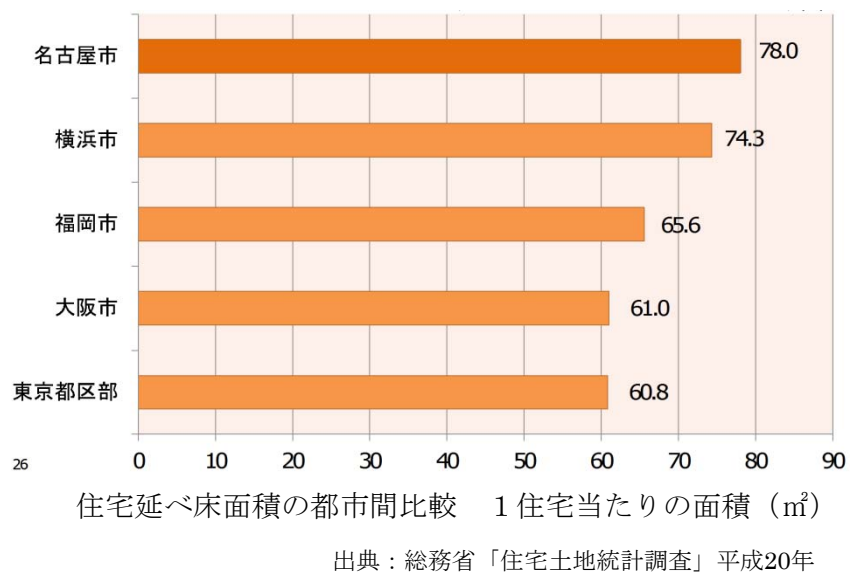
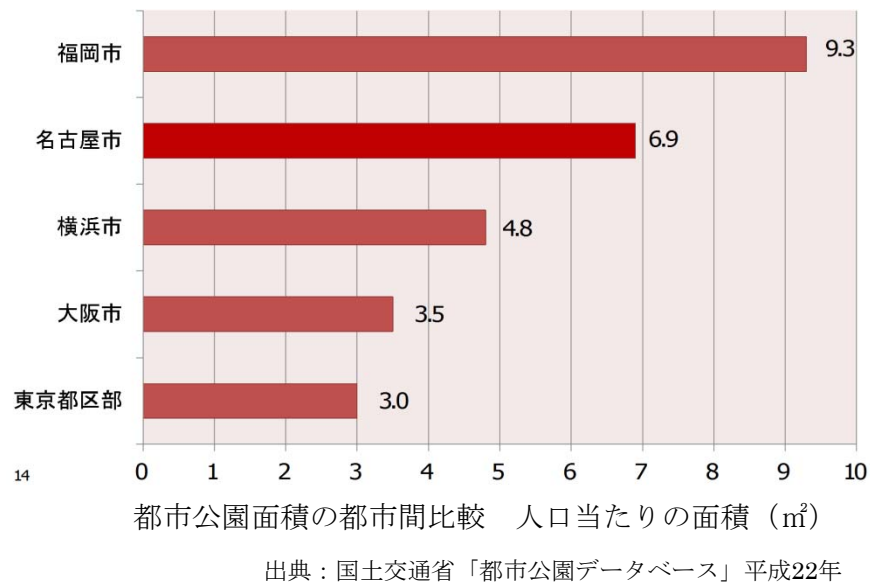
本市におけるごみ処理量の推移

出典：平成23年度名古屋市環境白書



本市における緑被率の推移

出典：名古屋のみどりー緑の現況調査報告書



（３）快適な都市環境と自然が調和するまち（めざす姿）

☆快適な都市環境のなかで気持ちよく暮らせるまち

☆自然が身近に感じられるうるおいがあるまち

☆都市と自然が調和する心やすらぐまち

良好で快適な基盤・環境の確保

- ・道路や公園、交通網などの都市基盤の充実、衛生的で暮らしやすい

自然と生物多様性

- ・身近に自然が感じられる
- ・生物の多様性や健全な水循環がある

緑地・水辺の保全

- ・緑地の保全や水辺空間の整備など自然と人が共生できる

都市機能

- ・都市機能の適切に配置され、連携している

低炭素・循環型

- ・低炭素で循環型の社会、エネルギーの効率的な利用・供給の促進

衛 生

- ・市民が衛生的で快適な暮らしを実感できる

快適な都市環境と自然の調和

- ・快適な都市環境と自然を調和させながら暮らしやすい

（３）快適な都市環境と自然が調和するまち（施策体系）

●施策体系

- ・ 大気や水質などが良好に保たれた快適な生活・居住環境を確保します
- ・ 身近な自然や農にふれあう環境をつくります
- ・ 公共交通を中心とした歩いて暮らせるまちづくりをすすめます
- ・ 良好な都市基盤が整った生活しやすい市街地を形成します
- ・ 歩行者や自転車に配慮した安全で快適な道路環境を確保します
- ・ バリアフリーのまちづくりをすすめます
- ・ 良質な住まいづくりをすすめます
- ・ 市民・事業者の環境に配慮した活動を促します
- ・ 低炭素社会づくりをすすめます
- ・ 3Rを通じた循環型社会づくりをすすめます

(4) 魅力と活力にあふれるまち

（４）魅力と活力にあふれるまち（現状と課題）

■現状と課題

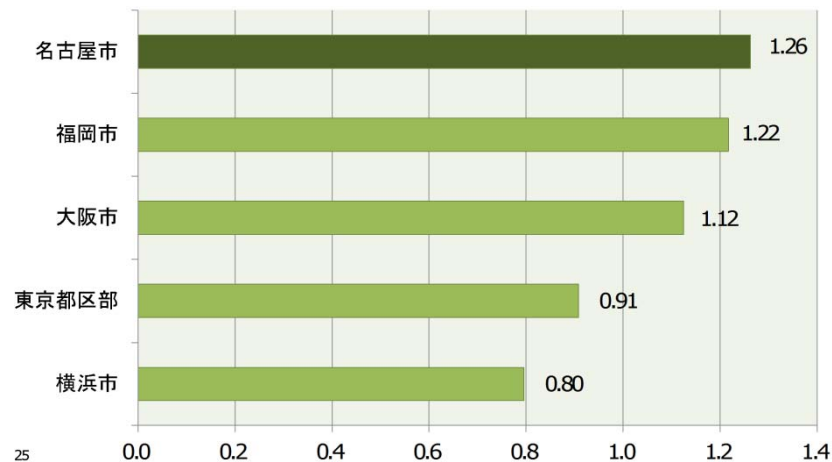
- 熱田神宮や三英傑、尾張徳川家に代表される歴史や文化が、名古屋の魅力や活力の礎となっている。
- ものづくり産業が盛んな中部圏の中核都市として商業・業務機能が集積し、名古屋駅や栄といった都心部を中心に賑わいのあるまちが形成されている。
- 大都市でありながら空間的なゆとり、時間的なゆとりが感じられて住みやすいことも、名古屋の大きな魅力となっている。
- リニア中央新幹線の開業を控え、都市の魅力を高め、発信すること、交流促進が課題となっている。

(4) 魅力と活力にあふれるまち（資料）



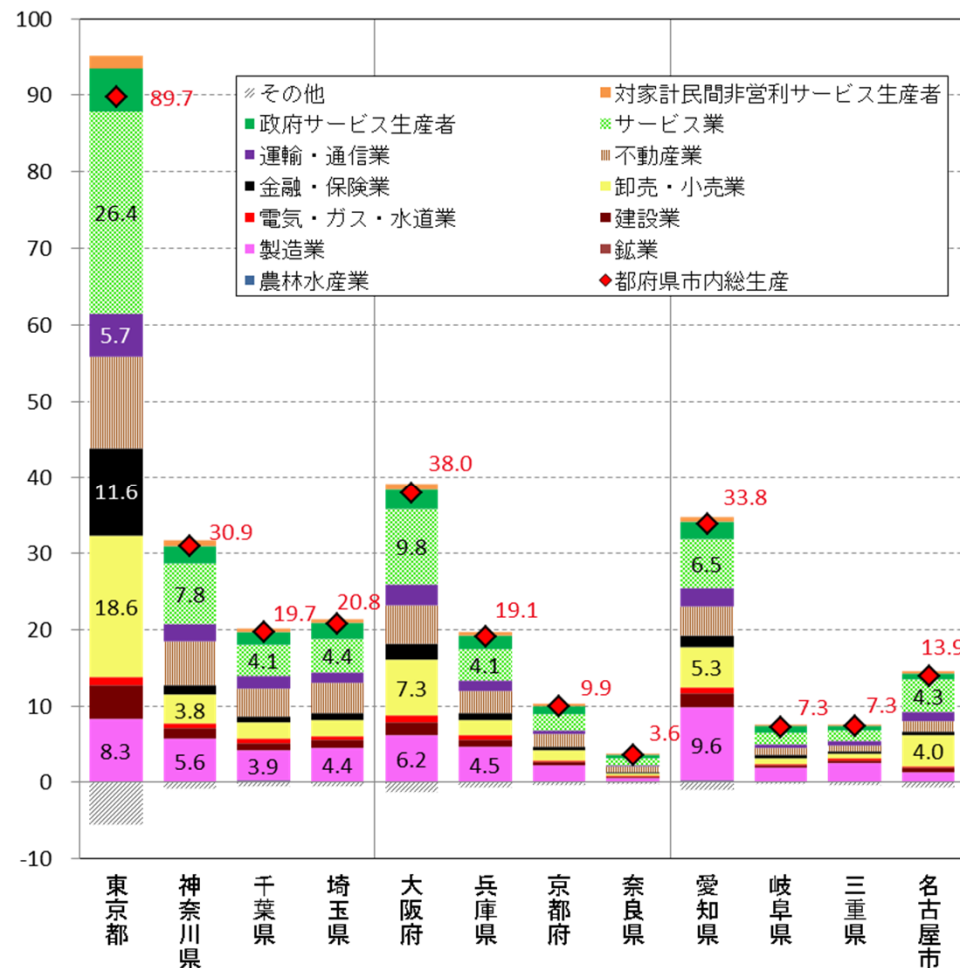
小売業年間商品販売額 人口当たりの額 (百万円)

出典：経済産業省「商業統計」平成19年



小売業売場面積 人口当たりの面積 (㎡)

出典：経済産業省「商業統計」平成19年



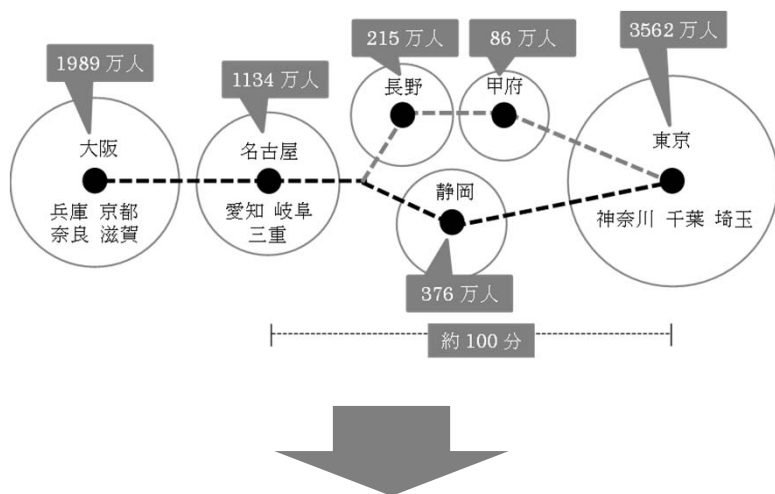
20年度経済計算による経済活動別生産額
(3大都市圏内都府県)

出典：経済計算より名古屋市作成

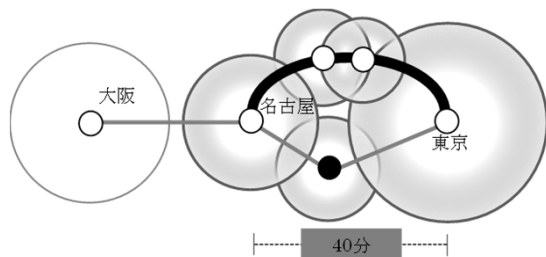
(注1) 平成22年度におけるデータで作成。

(注2) 不動産業は、持ち家賃を抑制計算した帰属家賃が含まれるため、一般通念上の「不動産業」の実勢を必ずしも反映していない。

(注3) 「その他」は、控除項目を含む。

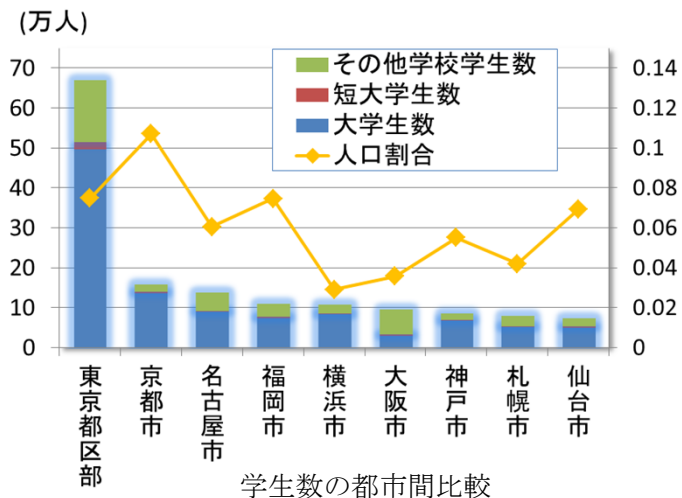


リニア中央新幹線 東京ー名古屋間の開業後



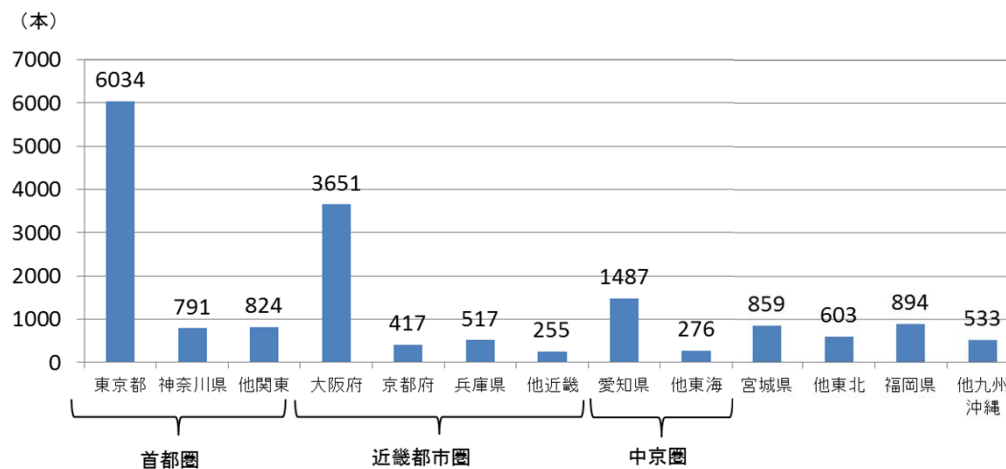
大きな新しい交流圏のイメージ図

出典：リニア中央新幹線建設促進期成同盟会資料
より名古屋市作成



学生数の都市間比較

出典「大都市比較統計年鑑」(大都市統計協議会)
を基に名古屋市作成



ライブ・エンタテインメントの年間公演回数

出典：一般社団法人コンサートプロモーターズ協会調査

（４）魅力と活力にあふれるまち（めざす姿）

☆住みたくなるまち ☆行きたくなるまち ☆市民が誇りに思えるまち

都市魅力向上

- ・ 歴史、文化、芸術などさまざまな面で、個性と魅力にあふれる、市民の誇りとなる都市として発展を続けていく

都市魅力の発信

- ・ 都市の魅力を広く発信することで多様な人々が交流している

若者の支援

- ・ 若い世代が元気に活動している

国際交流

- ・ 国際的にも開かれ、賑わっている

商業振興

- ・ 小売やサービスといった商業が活性している

産業振興

- ・ 地域産業の振興や次世代産業の創出・育成されている

（４）魅力と活力にあふれるまち（施策体系）

●施策体系

- ・世界の主要都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めます
- ・国際的に開かれたまちづくりをすすめます
- ・若い世代が学び、遊び、働けるまちをつくります
- ・歴史・文化に根ざした魅力を大切にします
- ・港・臨海域の魅力向上をはかります
- ・魅力的な都市景観の形成をすすめます
- ・観光・コンベンションの振興と情報発信により交流を促します
- ・地域の産業を育成・支援します
- ・次世代産業を育成・支援します

（５）市政運営の方針

- ① 市民主体の市政運営
- ② 将来を見据えた市政運営

① 市民主体の市政運営（現状と課題）

■現状と課題

- 行政課題や市民のニーズが多様化・複雑化している。
- 公共サービスや地域づくりを担っていく地域住民や地域団体、NPOなど多様な主体が育っている。

① 市民主体の市政運営（取り組み方針）

●市民目線に立った行政

- ・市民の目線に立って、さまざまな市民ニーズに的確に対応する。
- ・市民への情報提供や、市民の意見を市政に反映する機会を設けることなどにより、市民の参画を促し、相互理解のもとで市政を推進していく。

●多様な主体と行政の連携

- ・地域住民や地域団体、NPOなど多様な主体の協働意識の醸成や協働を推進するためのネットワークづくりなどに取り組む。
- ・多様な主体と、互いの立場を理解し尊重しあい、それぞれの役割を分担・連携して、ともに公共サービスや地域づくりを担っていく。
- ・大学との連携・協働などにより、地域の課題解決に向けた取り組みをすすめる。

●地域に密着した行政

- ・地域の多様な主体との分担・連携や他行政機関との連携強化などにより、区が自主性・主体性を発揮し、課題を解決できる体制を整える。
- ・地域の中での学びの場の創出や地域住民同士のつながりを深めることなどにより、地域づくりの担い手の育成につながるような取り組みをすすめる。

② 将来を見据えた市政運営（現状と課題）

■現状と課題

- 公共施設の老朽化が進み、今後更新時期を迎えることから大きな財政負担が予想される。
- 広域的な視点から圏域内の行政課題を考える必要性が高まっている。
- 南海トラフ巨大地震への対応、産業・交通の広域的課題や、リニア中央新幹線の開業に向けた取り組みについては、圏域全体の問題として重点的に取り組んでいく必要がある。
- 基礎自治体として行政サービスを提供するとともに、圏域の中核都市として大都市特有の行財政需要にも対応している。
- 財源や人員の制約の中での組織づくりが課題となっている。

② 将来を見据えた市政運営（取り組み方針）

●持続可能な行財政運営

- ・一層の経営感覚を発揮し、最少の経費で最大の効果をあげるべく不断の行政改革に取り組む。
- ・将来世代に過度な負担を残さないよう持続可能な行財政運営に取り組む。
- ・財政状況と収支見通しを示し、限られた資源を一層有効かつ効率的に活用するため事務事業の見直し等をすすめる。

●アセットマネジメントの推進

- ・公共施設の長寿命化や施設の集約化、保有資産の有効活用により、経費の抑制・平準化と必要な機能の確保をはかる。
- ・将来需要の適切な見通しのもと、施設の廃止・縮小を含めて資産保有量の適正化に取り組む。
- ・都市の活力の維持・向上のための新たな投資は、財政状況を踏まえ、必要性を見極めながら行っていく。

●広域的な視点に立った行政

- ・近隣市町村との相互連携を一層強化し、共通して抱える課題などに広域的に取り組む。
- ・名古屋大都市圏の中心的都市として取り組みをすすめるとともに、近隣市町村をはじめとする自治体間の連携をすすめる中で、一層のリーダーシップを発揮していく。

●新たな大都市制度の創設に向けた取り組み

- ・圏域全体をけん引する自治体としての役割を果たすため、都市の能力と役割に見合う権限と財源を兼ね備えた大都市制度の構築を目指す。

●人材の育成

- ・専門的知識をもち、市民目線に立って、大局的な見地からの確な判断を行い、着実に業務を遂行できる職員を育成していく。

市政運営の方針（施策体系）

●施策体系

- ・ 市民サービスの向上をすすめます
- ・ 市民への情報発信・情報公開をすすめます
- ・ 地域主体のまちづくりをすすめます
- ・ 簡素で効率的・効果的な行財政運営を行います
- ・ 公共施設の適切な維持管理、保有資産の有効活用をすすめます